

令和2年度 卒業式（全日制） 校長式辞 （一部抜粋）

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは、3年間の古知野高校での生活で、きっとかけがえのない思い出を創ることができたことでしょう。3年生の先生方が中心となって作成された「思い出ムービー」を私は、5回見ました。あどけなかった1年生のときの笑顔が、3年生では自信に満ちた、素敵な笑顔となっていました。

2年生のときに一緒に出かけた修学旅行は、私の30年余りの教員人生の中で、一番楽しい修学旅行でした。2日目の朝、空にかかった二重の虹、ダブルレインボーは本当にきれいでした。ホテルの海辺で撮影した全体写真は、私の一生の宝物です。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によって5月末まで学校休業となり、学校行事や部活動が思うようにできませんでした。高校総体をはじめとする大会が中止となり、やるせない気持ちで一杯だったと思います。

現在も世界中の人々を苦しめている新型コロナウイルス、マスクの着用が当たり前となった日常生活、外出の自粛、会話を楽しめない食事など、新たな生活様式を受け入れ、まだ、しばらくコロナとうまく付き合っていくしかありません。

2年前の2019年2月、水泳の池江璃花子選手が、高校3年生の卒業間際に白血病を公表しました。そのとき池江選手は、「私は、神様は乗り越えられない試練は与えない。自分に乗り越えられない壁はないと思っています。必ず戻ってきます。」と、ツイッターでコメントしました。その後、約10か月の入院、抗がん剤治療で吐き気が強いときには「大丈夫、大丈夫、いつか終わる。」と自分を励まし続けたそうです。

そして、最近出場した大会の50mパラフライで優勝、4月に開催予定の日本選手権に出場できるまで回復しました。池江選手は、現在20歳です。2024年パリオリンピック出場、メダル獲得という目標を掲げ、医師と相談しながらトレーニングに励んでいます。

人類が立ち向かっている新型コロナウイルス、池江選手が克服しようとしている白血病、私たちの前には、必ずと言ってもよいほど、困難が立ちはだかります。そんなとき私は、「**困難は乗り越えられる、強い覚悟と支えがあれば！**」という言葉で心の支えにしています。

「困難は乗り越えられる、強い覚悟と支えがあれば！」 自分自身の強い気持ちと周りにいる人たちのサポートがあれば、大丈夫です。なんとかなります。古知野高校の同級生、先輩・後輩、先生と過ごした日々のこと、部活動などで精一杯頑張った自分自身の姿を思い出して、力にしてください。

来年度、古知野高校は創立70周年を迎えます。**“70th Anniversary 笑顔の花を咲かせよう！”**というスローガンと素晴らしいロゴマークを卒業生が残してくれました。在校生、教職員一同、ここに咲いている明るく素敵な笑顔と天国から見守ってくれている笑顔を胸に刻んで、これからも地域に笑顔を届け、愛される古知野高校となるよう全力を尽くす所存です。

最後に、皆さんは今日、家に帰って御家族・保護者の方々に卒業証書を見せて、お礼の言葉をはっきりと述べてください。皆さんをこれまで育て、支えてくださった人たちの思いは、皆さんが想像する以上に重く大きなものです。その思いに対して、一言、感謝の言葉を伝えてほしいと思います。

“ I c a n d o i t ! Y o u c a n d o i t ! ”

卒業生の未来に“輝望の華”が咲きますように、また、30年後の2051年、古知野高校百周年記念行事での再会を願い、式辞とします。

令和3年3月1日

愛知県立古知野高等学校長 川合 貴也